

アセスメント・プラン

1. アセスメント・プランの目的

学生がより確実にディプロマ・ポリシーを達成できるようカリキュラムをマネジメントするために、①本学で定める3つのポリシーが適切であるかどうか、②本学の教育課程が3つのポリシーに基づき適切に機能しているかを、3つのレベル(機関レベル・学部レベル・授業レベル)で、多面的・総合的に、点検・評価するための具体的実施方法を定めることを目的とする。

2. アセスメント対象及びその指標

アセスメントは、次の基本構成で行うものとし、必要に応じて各指標を相互に関連させて実施する。

また、機関レベルの評価は、学部レベル及び授業レベルの各指標を元に、総合的に点検・評価するものとする。

アセスメント対象	アドミッション・ポリシーで示した資質能力の適切性	カリキュラム・ポリシーに基づき設計されたカリキュラムの適切性			ディプロマ・ポリシーで示した資質能力の適切性	3つのポリシーの整合性		
		設計の適切性	実行の適切性	学修成果				
指標	学部レベル	①選抜機能評価(各種入学試験とその後のGPA/単位修得状況/留年・退学状況との関係)	③シラバスの第三者チェック(DPと各科目の内容/順序/レベルの整合性)	⑤授業評価アンケート	⑥ジェネリックスキル(PROG) ⑦専門性 ⑧学修成果等アンケート ⑨成績評価(GPA)	⑪卒業後調査(卒業生アンケート) ⑫卒業生調査(卒業時学生アンケート) ⑬地元産業界インタビュー調査(浦安市企業アンケート)	⑭3つのポリシーの整合性点検(卒業率/就職率/進学率/留年率/退学率/国家試験合格率)	
		②入学時基礎学カテスト	④出欠状況調査・学長によるヒアリング調査		⑩進路先調査(企業アンケート)			
			⑫卒業生調査(卒業時学生アンケート)					
			⑬地元産業界インタビュー調査(浦安市企業アンケート)					
	授業レベル	③シラバスの第三者チェック(DPと到達目標[ループリック]/授業手法/評価方法の整合性)	⑤授業評価アンケート	⑧学修成果等アンケート ⑨成績評価				

3. アセスメントの実施方法

- (1) 「カリキュラム・アセスメント・チェックリスト」(別紙)に基づいて実施。
- (2) 各組織・委員会は、アセスメント結果をIR推進本部に集約する。(データの一元化)
- (3) IR推進本部は集約したアセスメント結果を、また各組織はアセスメント結果を受けた充実方策の案を、内部質保証推進委員会へ報告する。
- (4) 内部質保証推進委員会は、各組織からの報告に基づき教育活動の評価を行う。この際、以前に本委員会で承認した充実方策がある場合には、その結果についても評価を行う。
- (5) 学長は、内部質保証推進委員会の評価結果及び各組織から出された充実方策案を基に、対応に適した各組織に充実方策の実行プランの作成を依頼する。
- (6) 依頼を受けた各組織は内部質保証推進委員会へ適宜充実方策の実行プランを報告する。
- (7) 内部質保証推進委員会は充実方策の実行プランの適切性を評価し、充実方策の承認を行う。過不足のある場合、学長は、充実方策の再検討を再度適切な組織に依頼する。(以下(5)~(7)を繰り返す)
- (8) 各組織は、内部質保証推進委員会の承認を受けた改善方策に基づき、教育活動の充実に取り組む。

